

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年10月11日(2018.10.11)

【公表番号】特表2017-539112(P2017-539112A)

【公表日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-050

【出願番号】特願2017-519869(P2017-519869)

【国際特許分類】

H 04 L	29/10	(2006.01)
H 04 W	92/08	(2009.01)
H 04 L	29/08	(2006.01)
H 04 L	29/06	(2006.01)
H 04 W	28/04	(2009.01)

【F I】

H 04 L	13/00	3 0 9 B
H 04 W	92/08	1 1 0
H 04 L	13/00	3 0 7 Z
H 04 L	13/00	3 0 5 A
H 04 W	28/04	1 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月28日(2018.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガードタイマーが満了することにより発生する情報フレーム(I フレーム)の連続再送信の数をカウントすることと、ここにおいて、非接触フロントエンド(C L F)が、前記 I フレームをシングルワイヤプロトコル(S W P)インターフェースを介してセキュアメント(S E)に送信する、

前記カウントが再送信しきい値に等しいとき、

I フレーム再送信を中止することと、

前記 S W P インターフェースを非アクティブにすることと、

C L F フームウェアの割込みをトリガすることと、

反応しない状態を前記 C L F フームウェアに通知することと

を備える、方法。

【請求項2】

I フレームの連続再送信の前記数をカウントすることが、I フレームの各連続再送信についての前記カウントを増分することを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記 S E が I フレームに肯定応答するとき、前記カウントをゼロにリセットすることをさらに備える、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記再送信しきい値が構成可能である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記ガードタイマーは、前記 C L F がガーディング時間内に前記 S E から I フレーム肯

定応答を受信しないとき、満了する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 C L F によって前記 S E に送信される複数の I フレームに関連する複数のカウントを維持することをさらに備え、ここにおいて、各 I フレームは、ガードタイマーが満了することによる I フレームの連続再送信の前記数についての別個のカウントを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記複数のカウントのうちの少なくとも 1 つが前記再送信しきい値に等しいとき、I フレーム再送信を中止し、前記 S W P インターフェースを非アクティブにすることをさらに備える、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 S E が前記複数の I フレームのいずれか 1 つに肯定応答するとき、前記複数のカウントをゼロにリセットすることをさらに備える、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 C L F がニアフィールド通信 (NFC) チップを備え、ここにおいて、前記 S E が、ユニバーサル集積回路カード (UICC) および埋込み S E のうちの少なくとも 1 つを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 I フレームが、簡略ハイレベルデータリンク制御 (SHDLC) リンクレイヤ制御 (LDC) を使用して、前記 S W P インターフェースを介して送られる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

ガードタイマーが満了することにより発生する情報フレーム (I フレーム) の連続再送信の数をカウントするための手段と、ここにおいて、非接触フロントエンド (CLF) が、前記 I フレームをシングルワイヤプロトコル (SWP) インターフェースを介してセキュアエレメント (SE) に送信する、

前記カウントが再送信しきい値に等しいとき、

I フレーム再送信を中止するための手段と、

前記 S W P インターフェースを非アクティブにするための手段と、

CLF ファームウェアの割込みをトリガするための手段と、

反応しない状態を前記 CLF ファームウェアに通知するための手段と、

を備える、装置。

【請求項 12】

I フレームの連続再送信の前記数をカウントするための前記手段が、I フレームの各連続再送信についての前記カウントを増分するための手段を備える、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 13】

前記 S E が I フレームに肯定応答するとき、前記カウントをゼロにリセットするための手段をさらに備える、請求項 12 に記載の装置。

【請求項 14】

前記 C L F によって前記 S E に送信される複数の I フレームに関連する複数のカウントを維持するための手段をさらに備え、ここにおいて、各 I フレームは、ガードタイマーが満了することによる I フレームの連続再送信の前記数についての別個のカウントを有する、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 15】

命令をその上に有するコンピュータ可読媒体を備えるコンピュータプログラム製品であって、前記命令は、実行されるとコンピュータに請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載の方法を行わせる、コンピュータプログラム製品。